



2021年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年8月10日

上場会社名 PCIホールディングス株式会社
コード番号 3918 URL <https://www.pci-h.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 天野 豊美

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画本部長 (氏名) 井口 直裕

TEL 03-6858-0530

四半期報告書提出予定日 2021年8月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第3四半期の連結業績(2020年10月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第3四半期	14,573	17.3	613	50.0	651	46.4	337	263.5
2020年9月期第3四半期	12,428	4.6	409	13.8	444	8.4	92	63.0

(注) 包括利益 2021年9月期第3四半期 282百万円 (69.7%) 2020年9月期第3四半期 166百万円 (13.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第3四半期	40.29	40.25
2020年9月期第3四半期	11.28	

(注) 1. 2020年9月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年9月期第3四半期	20,389	7,564	34.9	708.17
2020年9月期	12,442	5,427	40.4	609.61

(参考) 自己資本 2021年9月期第3四半期 7,108百万円 2020年9月期 5,021百万円

(注) 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期		30.00		16.00	
2021年9月期		15.00			
2021年9月期(予想)				16.00	31.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、2020年9月期の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式分割を行う影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「-」としております。

3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,200	26.5	950	26.6	965	19.9	525	83.0	59.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1 社 (社名) 株式会社ソード、除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年9月期3Q	10,322,400 株	2020年9月期	8,522,400 株
期末自己株式数	2021年9月期3Q	285,038 株	2020年9月期	285,006 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年9月期3Q	8,380,445 株	2020年9月期3Q	8,229,653 株

(注) 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期中発行済株式数(自己株式を含む)、期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会内容の入手方法)

当社は、2021年8月12日(木)にアナリスト・機関投資家向け説明会(Web配信)を開催する予定です。この説明会で配信する決算説明資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年10月1日～2021年6月30日)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が長期化する中、段階的な経済活動の再開により一部持ち直しの動きが見られたものの、変異株の流行による感染再拡大により都市部を中心とした再度の緊急事態宣言が発令される等、以前として厳しい状況下で推移いたしました。

当社グループが属する情報サービス産業におきましては、IoT(※1)、IOE(※2)、人工知能(AI)等の先端技術を活用したデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進に加え、新型コロナウイルス感染症対策に伴う、テレワーク導入企業の増加によるITインフラ整備・強化、非接触対応、医療ICT化促進、サイバー攻撃等の脅威に対する情報セキュリティ対策強化への優先的な投資傾向がみられ、IT投資需要は底堅く推移いたしました。一方で、IT技術者不足は常態化しており、人材確保が継続的な課題となっております。

このような状況下において、当社グループは、新型コロナウイルス感染症の影響による経済・社会の不可逆的なビジネスモデル・産業構造の変化及び生活者変化を捉え、社会全体のデジタル化の加速による新規需要の取り込みを図ってまいりました。また、2020年10月1日付で株式会社シー・エル・シーを存続会社としてサイバーセキュリティ事業を営むSafer Connected World株式会社と合併し、巧妙化・複雑化するサイバー攻撃に対応する情報セキュリティビジネスに注力する等、社会的課題の解決と「安心・安全・豊かな社会」を目指した事業展開を推進してまいりました。2021年1月には、組込みパソコン、コントローラー及び周辺機器の開発、設計、製造等のエンベデッドソリューション事業を展開する株式会社ソードを完全子会社化する等、事業規模拡大に向けた各種施策に取り組んでまいりました。なお、新たに連結子会社となった株式会社ソードの業績は当第3四半期連結会計期間の4月より計上しております。

当社は、2020年11月13日に公表いたしました当事業年度を初年度とする3ヶ年の中期経営計画「PCI-VISION 2023」に基づき、持続的成長を目指して事業活動を推進しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は14,573百万円(前年同期比17.3%増)、営業利益は613百万円(前年同期比50.0%増)、経常利益は、各種助成金等の計上もあり651百万円(前年同期比46.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は337百万円(前年同期比263.5%増)となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

(ITソリューション事業)

ITソリューション事業につきましては、売上高は11,193百万円(前年同期比19.2%増)となり、セグメント利益は426百万円(前年同期比0.4%増)となりました。

以下では、ITソリューション事業における概況と売上高を主要区分別に示します。

① エンベデッドソリューション

第1四半期において、顧客企業の予算縮小等の影響を受けて自動車関連案件の新規受注が減少したものの、第2四半期以降は徐々に回復傾向がみられました。また、企業のテレワーク導入による通信インフラ強化を受け、通信・専用装置案件、ルーター開発等のネットワーク関連案件が増大いたしました。なお、新たに連結子会社となった株式会社ソードの業績を当第3四半期連結会計期間より計上しており、同社が展開する組込みパソコン、コントローラー及び周辺機器の開発、設計、製造等が収益に大きく寄与いたしました。

以上の結果、売上高は5,502百万円(前年同期比43.5%増)となりました。

② ビジネスソリューション

文教系分野においては、新型コロナウイルス感染症の長期化により顧客の予算計画変更の影響を受け、売上高は減少いたしました。企業向け分野においては、一部の開発案件において第1四半期に不採算案件が発生したものの、ソフトウェア開発における社会インフラ構築案件及び公共事業者向け案件が堅調に推移いたしました。また、メインフレーム分野において、ソフトウェア案件が好調に推移いたしました。なお、新たに連結子会社となった株式会社ソードの業績を当第3四半期連結会計期間より計上しており、同社が展開するキッティング業務等の請負案件が収益に大きく寄与いたしました。

以上の結果、売上高は5,691百万円(前年同期比2.5%増)となりました。

(IoT/IOEソリューション事業)

IoT/IOEソリューション事業につきましては、売上高は1,890百万円(前年同期比10.1%増)となり、セグメント利益は95百万円(前第3四半期連結累計期間△11百万円のセグメント損失)となりました。利益率の高い事業者識別番号を活用した通信事業が好調に推移し、売上及び利益に寄与した他、IoTプラットフォーム関連事業が堅調に推移いたしました。また、グループ内再編によるセキュリティソリューションの販売強化に注力いたしました。

(半導体トータルソリューション事業)

半導体トータルソリューション事業につきましては、売上高1,520百万円(前年同期比14.1%増)となり、セグメント利益は93百万円(前第3四半期連結累計期間△21百万円のセグメント損失)となりました。

半導体市場の好調を背景に、既存顧客からのLSI検証案件及びテスト案件の引合い増加が継続し、売上に大きく寄与した他、グループ間及び協業企業との連携により、ソフト開発案件を受注する等、総じて好調に推移いたしました。また、新技術の開発及び自社製品の実用化に向けて継続的な研究開発投資を実行いたしました。

(注) 上記に用いられる用語の説明は以下のとおりであります。

(※1) IoT: (Internet of Things)

コンピュータ等の情報・通信機器だけでなく、様々な「モノ」に通信機能を持たせ、インターネットに接続、相互に通信することにより、自動認識や自動制御、遠隔計測等を行うこと。

(※2) IOE: (Internet of Everything)

IoTよりも広い概念であり、ヒト・モノ・プロセス・データ等がインターネットにつながり、相互に通信が可能となる技術や状態、仕組みのこと。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、20,389百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,947百万円増加いたしました。これには、株式会社ソードの新規連結による資産の増加が含まれております。

流動資産につきましては、現金及び預金1,790百万円、電子記録債権1,452百万円、たな卸資産1,044百万円の増加等により、前連結会計年度末に比べ5,688百万円の増加となりました。

固定資産につきましては、有形固定資産720百万円の増加、無形固定資産1,219百万円の増加、投資その他の資産318百万円の増加により、前連結会計年度末に比べ2,258百万円の増加となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、12,825百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,810百万円増加いたしました。これには、株式会社ソードの新規連結による負債の増加が含まれております。

流動負債につきましては、買掛金802百万円、電子記録債務795百万円、短期借入金3,300百万円、その他797百万円の増加等により、前連結会計年度末に比べ5,978百万円の増加となりました。

固定負債につきましては、資産除去債務379百万円、その他49百万円の増加の一方で、長期借入金610百万円の減少等により、前連結会計年度末に比べ167百万円の減少となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は7,564百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,136百万円増加いたしました。これは主に、公募増資及びオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資等により資本金が1,045百万円、資本剰余金が1,043百万円増加したこと、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上や配当金の支払等により利益剰余金が83百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は34.9%(前連結会計年度末は40.4%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年9月期の連結業績予想につきましては、2021年5月11日付「2021年9月期 第2四半期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,831,902	6,621,981
受取手形及び売掛金	2,978,135	3,754,022
電子記録債権	314,056	1,766,955
たな卸資産	219,025	1,263,970
その他	282,539	907,330
流動資産合計	8,625,660	14,314,260
固定資産		
有形固定資産	260,392	981,283
無形固定資産		
のれん	979,710	2,350,402
その他	375,822	224,819
無形固定資産合計	1,355,533	2,575,222
投資その他の資産		
投資有価証券	1,385,787	1,410,306
その他	814,619	1,108,495
投資その他の資産合計	2,200,407	2,518,801
固定資産合計	3,816,333	6,075,307
繰延資産	21	—
資産合計	12,442,015	20,389,568
負債の部		
流動負債		
買掛金	950,880	1,753,099
電子記録債務	—	795,661
短期借入金	200,000	3,500,000
1年内償還予定の社債	106,250	5,000
1年内返済予定の長期借入金	619,952	800,502
未払金	369,431	458,821
未払法人税等	226,809	73,328
賞与引当金	335,718	615,132
役員賞与引当金	26,061	15,378
受注損失引当金	1,430	—
アフターコスト引当金	—	1,580
資産除去債務	10,122	9,117
その他	741,566	1,538,837
流動負債合計	3,588,221	9,566,459
固定負債		
長期借入金	2,753,334	2,142,832
役員退職慰労引当金	46,068	21,819
退職給付に係る負債	159,958	198,344
資産除去債務	72,115	451,768
その他	394,599	443,901
固定負債合計	3,426,074	3,258,665
負債合計	7,014,295	12,825,125

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,046,232	2,091,897
資本剰余金	2,648,772	3,692,040
利益剰余金	1,632,236	1,715,964
自己株式	△370,604	△370,644
株主資本合計	4,956,637	7,129,258
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	64,958	△6,749
退職給付に係る調整累計額	—	△14,332
その他の包括利益累計額合計	64,958	△21,082
新株予約権	10,015	23,107
非支配株主持分	396,106	433,159
純資産合計	5,427,719	7,564,443
負債純資産合計	12,442,015	20,389,568

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
売上高	12,428,109	14,573,203
売上原価	9,211,848	10,741,368
売上総利益	3,216,260	3,831,834
販売費及び一般管理費	2,806,942	3,217,896
営業利益	409,318	613,937
営業外収益		
受取利息及び配当金	26,144	29,677
助成金収入	11,039	36,309
その他	13,072	10,558
営業外収益合計	50,256	76,545
営業外費用		
支払利息	9,406	18,817
支払手数料	1,025	529
投資事業組合運用損	3,691	2,781
株式交付費	—	13,857
その他	524	3,180
営業外費用合計	14,648	39,166
経常利益	444,926	651,316
特別利益		
固定資産売却益	500	—
リース解約益	—	633
特別利益合計	500	633
特別損失		
固定資産除却損	216	—
投資有価証券評価損	199,610	—
その他	6,741	—
特別損失合計	206,567	—
税金等調整前四半期純利益	238,859	651,950
法人税、住民税及び事業税	170,153	232,920
法人税等調整額	△19,608	50,777
法人税等合計	150,544	283,698
四半期純利益	88,314	368,252
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,554	30,639
親会社株主に帰属する四半期純利益	92,869	337,613

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	88,314	368,252
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	78,009	△71,708
退職給付に係る調整額	—	△14,332
その他の包括利益合計	78,009	△86,041
四半期包括利益	166,323	282,211
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	170,878	251,571
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,554	30,639

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年5月21日開催の取締役会において、公募及び第三者割当による新株式発行並びに、当社株式の売出しを行うことについて決議し、公募による新株式発行については2021年6月7日に払込が完了し、当社株式の売出しについては2021年6月8日に受渡しが完了しております。

また、当社株式の売出しに関連する第三者割当による新株式発行については2021年6月25日に払込が完了しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ1,045百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が2,091百万円、資本剰余金が3,692百万円となっております。